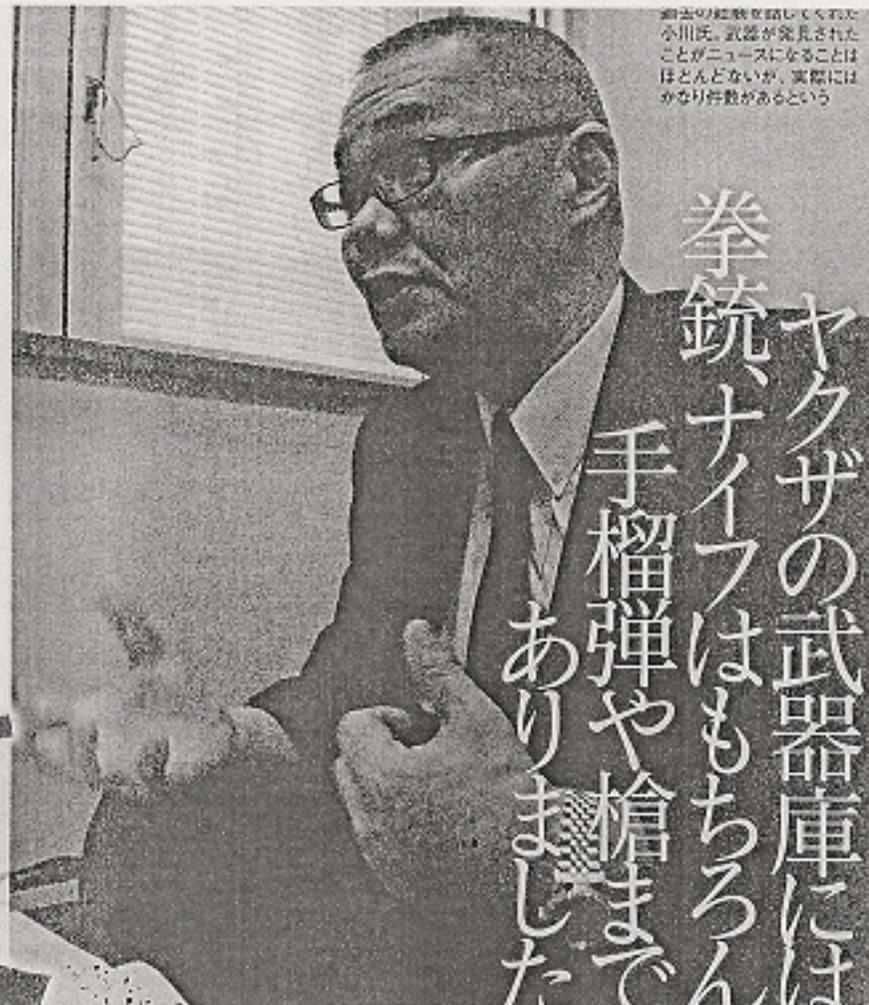


過去の経験を通じてきた小川氏。武器が発見されたことがニュースになることはほとんどないが、実際にはかなり件数があるという



ヤクザの武器庫には拳銃、ナイフはもろろん手榴弾や槍までありました

「我々の身近な所にも存在していると思って頂いて間違いないですね」

武器庫の場所を聞くと、小川氏はこう断言した。よく映画などでは金魚やピラニアが泳ぐ水槽の中や、墓石の下などに隠されているが、実際にはもっと身近なところにあることが多いという。付き合っている女の家に隠して置いておく、公園のベンチの下に隠す。さらには現在数が増えたレンタルスペースや、廃車となったクルマの中、なんてこともこれまでにあったという。

実際、北九州市で発見された武装庫も民家の壁に並ぶ何の意図もない倉庫だった。持っているだけでリスクの大きいものだから一般人が立ち入らない所に隠してあるようなイメージがあるが、むしろ白々の生活に紛れ込ませるようにならなければならないのが、現実らしい。主なものも拳銃だが、問題はそれだけだ。

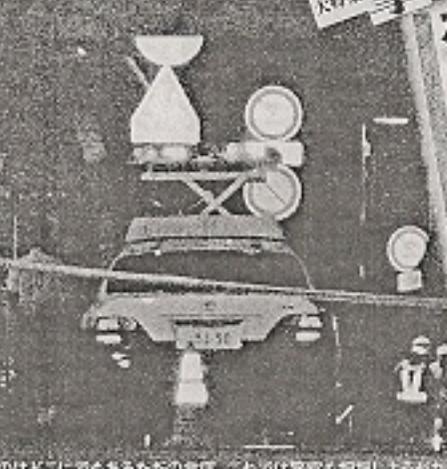
「現在、日本にどれほどの数の不法拳銃が出回っているか、と聞いていますか」

ヤクザが3〜4万人いるとして、1人1丁と考えれば少なくとも4万丁はあります。準構(成員)も含めたら、7万丁程度あるとも言われています」

小川氏はそう言うが、この数字はあくまで最低数である。実際にはその何倍、何十倍かもしれない。自分が住んでいるマンションの隣の部屋が武装庫になっている——そんなことがむしろ

真相の直撃 警察OB直撃インタビュー

日本には拳銃が隠れている



はなければならぬといった事もありませう。数も用意している。そこには必ず拳銃だけでなく、実弾もある」

発見された武器庫には、これまでに小川氏が知っている限りでも、ナイフはもろろん拳銃、手榴弾、バズーカ砲、さらには何と槍まで隠されていたというから驚きだ。人を殺せ、道具ならなんでもアリ、といったところだ。

武器マニアと密輸

だが武装庫を持っている人物はヤクザだけではない。実は日本には「武器マニア」が存在する。彼らは武器を買いやすい東南アジアなどから持ち込み、それがマニアの手を渡り歩き、然る間にヤクザがからむこともあるが、密輸へ流れ着くことがあるという。だが、

外国とは違い銃を持つ必要のない日本に、これほど多くの拳銃があるという。密輸の摘発で、もしかすると……と思っていたが、どうやら数はそのリアルな現状を元神奈川県警刑事が語った

取材・文 小野貴之